

今だからこそ

# 災害に備えて事前の準備を

大切な生命を守るために、災害への備えは万全ですか？



▶豪雨により寸断された道路（谷内区）

## ■避難が必要な状況



大雨・台風



土砂崩れ



地震

## ■家庭や地域で災害に 対する備えを確認

平成28年4月の熊本地震、同6月の1時間当たりの総雨量が150ミリの豪雨災害では、町内でも家屋の倒壊や浸水、土砂災害など多くの被害が発生しました。

これからの季節は、大雨や洪水、土砂災害などに特に注意する必要があります。災害に備えて次の3つの

ポイントを確認しましょう。

- 家族全員で避難場所を確認しよう
- 台風の際には事前に家の周りの確認をしよう

● 非常持出品を準備しよう

災害は、いつどこで、どのような形で発生するか予測がつかないものです。日ごろから家庭や地域で防災に対する意識を高め、しっかりと準備しておくことが大切な生命を守ることに繋がります。

## ■情報収集のための手段① ～最新の情報をいち早く確認～

### ● 熊本県防災情報メールサービス

県が配信する防災情報サービスです。気象注意報・警報、河川水位情報、避難勧告などをメールでお知らせします。  
entry@anshin.pref.kumamoto.jp  
に空メールを送信して、事前登録してください。

### ● 熊本県統合型防災システム

県内の大雨などの気象情報や土砂災害警戒情報や河川の水位状況などをリアルタイムで確認できます。インターネットから次のURLへアクセスしてください。

▶ 熊本県統合型防災情報システム

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp>

## ■町から発令される避難情報と発令時にとるべき行動

災害発生の恐れがある場合には、避難に関する情報を発令しますので適切な行動をとりましょう

| 警戒レベル                         | 避難区分              | 発令時の状況ととるべき行動   |
|-------------------------------|-------------------|---|
| 警戒レベル<br><b>4</b><br>全員避難     | 避難指示<br>(緊急)      | <p>災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。</li> <li>・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。</li> </ul> |
| 警戒レベル<br><b>3</b><br>高齢者などは避難 | 避難勧告              | <p>災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかに避難場所へ避難しましょう。</li> <li>・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。</li> </ul>                  |
| 警戒レベル<br><b>1 または 2</b>       | 避難準備・<br>高齢者等避難開始 | <p>避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。</li> <li>・避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）は避難を開始しましょう。</li> </ul>              |
|                               | 自主避難              | <p>自宅および周辺の状況により災害被害を感じた場合は、自らの判断で自主的に避難することができる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定された地域の避難場所への避難行動の開始</li> <li>・親戚や知人宅などへ避難する</li> </ul>   |

■生命を守るために情報収集を  
気象庁が発表する注意情報や警報などは、災害による被害を最小限に抑えるために発表されます。テレビやラジオ、町、消防から発信される情報を常に収集・精査して、デマ情報などに惑わされないよう注意することが重要です。警報や勧告などがなくても、常に身の回りの状況に気を配り、身の危険を感じたときには、明るうちに早めの避難を心掛けましょう。

■町が発令する避難指示・勧告  
台風や大雨などにより災害発生の恐れがある場合には、住民の皆さんを災害から保護し被害の拡大を防止するため、町では避難に関する情報を発令します。  
避難区分は高齢者など避難に時間のかかる方に早めの避難を促す「避難準備・高齢者等避難開始」、通常の避難行動ができる者に避難を促す「避難勧告」、危険が切迫し、早急な避難を促す「避難指示（緊急）」の3段階に分類され、さらに自らの判断で自主的に避難をする「自主避難」があります。避難区分については、気象状態や河川の推移などにより判断され、町公式ウェブサイトや防災無線による一斉通報、携帯電話などの「エリアメール」、警鐘およびサイレンの吹鳴などで伝達されます。避難をする場合には、慌てずに周りの状況を見て行動しましょう。

### ■情報収集のための手段② ～いざというときは早めの避難を～

#### ●洪水情報の配信エリア拡大

国土交通省では、平成30年5月から国が管理する緑川、白川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、対象の地域にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が緊急速報メールを活用し自動で配信されるようになりました。

#### ●甲佐町公開マップ

町では、「甲佐町公開マップ」を整備しました。緊急指定避難場所や土砂災害警戒区域などを確認できます。

##### ▶甲佐町公開マップ

<https://apps01.chklab.com/LG434442/CommonMap/Home/Policy/>



▲甲佐町公開マップ

# 災害に備えて

## 非常持ち出し品や避難所を確認しよう

### ■災害に備えて用意する非常持出品

#### ●いつでも避難できるように準備しておくもの

- 食料品  飲料水  非常用食品（乾パンや缶詰など長期保存できるもの）
- 避難用具  防災ずきんやヘルメット  懐中電灯  携帯ラジオ  
 予備電池  笛やブザー  携帯電話（充電器含む）  
 万能ナイフ  手袋
- 貴重品  現金  預金通帳・印かん  健康保険証  身分証明書
- 衛生用具  救急セット  常備薬・持病薬  タオル  
 トイレットペーパー  ウェットティッシュ  着替え  
 雨具  生理用品  缶切り  粉ミルク・紙おむつ
- その他  ビニール袋  カイロ  携帯トイレ  マッチやライター  
 スリッパ  食品用ラップフィルム  マスク  毛布  
 その他自分の生活に欠かせないもの

#### ●復旧までの3日間をしのぐ備蓄品

- 飲料水  ペットボトル（1人1日3ℓ）  貯水した防災タンク
- 貴重品  米  缶詰やレトルト食品  梅干しや調味料  
 フリーズドライ食品・チョコレート・あめなど
- 燃料  卓上コンロ  ガスコンロ  固形燃料
- その他  生活用水  毛布・寝袋  洗面用具  調理用具  
 バケツ・アウトドア用品  ポリタンク

#### ■日ごろから防災意識を持って備えておくことが大切です

平成28年の熊本地震の際には、土砂災害により水道・電気などのライフラインが寸断されるとともに、道路や河川などが土砂災害などにより通行止めとなり流通が途絶え孤立する地域もありました。

大規模な災害時は、長期の停電や断水が発生し、支援物資の到着も遅れてしまう可能性もあるため、各家庭で3日間をしのぐ必要最低限の水や食料などを備えておくことが重要です。避難指示などの発令のため、すぐに自宅に帰れず避難所などでの長期の生活を余儀なくされる場合もあります。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品などを備えるようにしましょう。

食料品などのほかに、着替えや常備薬など生活に必要なものをあらかじめリュックサックに詰めておき、災害が起きたときにいつでも持ち出せるようにしておきましょう。ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。

### ■白川・緑川水防演習2019を実施 ～非常時の備えを万全に～



▲「土のう積み工法」を実施する町水防団

5月19日（日）熊本市西区のJR熊本駅東側白川河川敷で、白川・緑川水防演習2019が開催されました。

同演習は、住民の防災意識の向上や防災機関の水防技術の向上、連携などを目的に国土交通省九州地方整備局、県および熊本市が主催し、町水防団（池田実団長448人）も参加。

演習では、各種水防工法の実演や地域住民や学生による防災訓練のほか、防災展示や炊き出し訓練も実施されました。

町水防団は、堤防の上面に土のうを積み上げて増水した河川の水があふれるのを防ぐ「土のう積み工法」を実施しました。



くらし安全推進室  
佐々木 善平 室長

## 自らの命は自ら 守りましょう

今年も梅雨の季節がやってまいりました。最近「記録的豪雨」や「これまでに経験したことのない」といった言葉が頻繁に聞かれます。気象庁によると、最近は大雨の発生回数に比べて短時間強雨の発生回数の多さが目立っているとのこと。

先日も鹿児島県屋久島町で50年に一度といわれる記録的豪雨により土砂崩れが発生し、登山客など300人以上が一時孤立しました。他人ごとではありません。大雨に関して、まず、お住まいの地域がどのような災害リスクがあるのかを把握することが重要です。そして、早め早めの避難を心がけることで最も大切な命を守ることができます。

地域の災害リスクを把握しておきましょう。

## ■町内の緊急指定避難場所



緊急指定避難場所（所在地）

|  |                                |                                      |
|--|--------------------------------|--------------------------------------|
| ① 宮内地区社会教育センター<br>(小鹿地区に開設準備中)             | ⑥ 甲佐中学校<br>(甲佐町中横田300)         | ⑪ 白旗福祉ふれあいセンター<br>(甲佐町白旗216-2)       |
| ② 町総合保健福祉センター<br>(甲佐町豊内619) <b>W</b>       | ⑦ 龍野小学校<br>(甲佐町上早川1220)        | ⑫ 上益城農業共同組合第一営農<br>センター (甲佐町白旗543-1) |
| ③ 甲佐小学校<br>(甲佐町豊内613-1)                    | ⑧ 龍野福祉ふれあいセンター<br>(甲佐町上早川1334) | ⑬ 乙女小学校<br>(甲佐町津志田3073)              |
| ④ 町農業研修センター「ろくじ館」<br>(甲佐町豊内719-2) <b>W</b> | ⑨ 町民センター<br>(糸田9-1) <b>W</b>   | ⑭ 乙女高齢者福祉センター<br>(甲佐町津志田3073)        |
| ⑤ 甲佐地区都市防災公園<br>(豊内地区に開設準備中)               | ⑩ 白旗小学校<br>(甲佐町白旗50)           | <b>W</b> …Wi-Fi 設置場所                 |

## ■避難場所をあらかじめ確認し もしもの時に備えましょう

災害が発生し避難しなければなら  
ない場合は、最寄りの避難場所に避  
難します。

熊本地震のように夜間避難をする  
場合や、勤務先から避難する場合も  
考えられます。あらかじめ避難場所  
や経路を確認しておき、いざとい  
うときにすぐ避難ができる状態を考  
えておきましょう。

大規模な災害が発生したときに、  
被害の拡大を最小限にするためには、  
自分自身での備えや自主防災組織な  
ど地域で防災活動に取り組むことが  
重要です。

災害に備えて今自分たちでできる  
ことを考えることが、自分の生命や  
大切な人の生命を守ることにつな  
がります。

### ▼お問い合わせ先

096-234-1167  
町くらし安全推進室

## ■自主防災組織で高める防災力

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という共通の目的を持って、地域の人たちが自発的に結成する防災のための組織です。

災害発生時に消防団などが現場に到着するまでの間、地域で協力しながら人命救助や消火活動をして、被

## ～地域で災害に対する備えを～

害を最小限にとどめるために作られています。

この自主防災組織は災害発生時に頼りになる地域住民同士の助け合いを組織化したものです。

皆さんの地区でも自主防災組織を設立して、地域の防災力を高めませんか。



▲防災訓練を実施する西寒野区自主防災組織